

平成29年度決算に基づく南三陸町健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定する南三陸町における健全化判断比率および資金不足比率について、平成29年度決算に基づく算定結果は次のとおりです。

▶健全化判断比率

区分	平成29年度南三陸町比率	県内平均(仙台市を除く)	早期健全化基準(黄信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率	- % (▲23.71)		14.87%	20.00%
連結実質赤字比率	- % (▲38.31)		19.87%	30.00%
実質公債費比率	7.8%	7.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	- %	1.2%	350.0%	

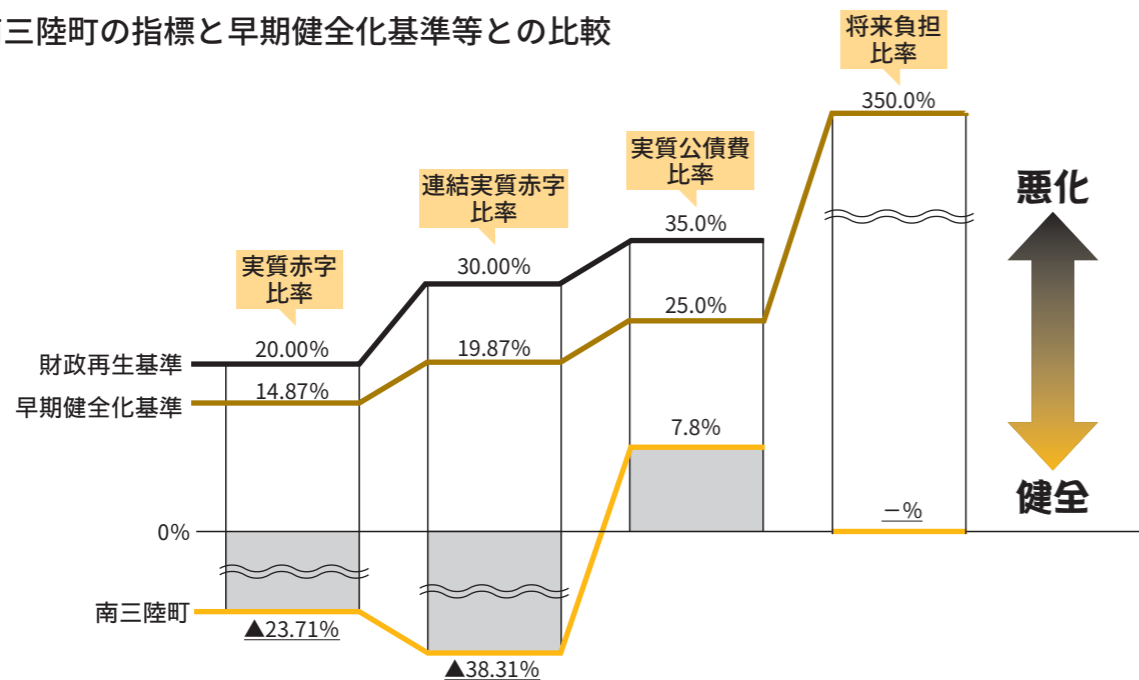
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率、将来負担比率は「- (なし)」で表示し、黒字の数値を参考値として「▲」で表示しています。

▶資金不足比率

区分	市場事業	漁業集落排水事業	公共下水道事業	水道事業	病院事業	訪問看護ステーション事業
資金不足比率	- %	- %	- %	- %	- %	- %
経営健全化基準	20.0%					

※資金不足額がないため、資金不足比率は「- (なし)」と表示しています。

▶南三陸町の指標と早期健全化基準等との比較



- 実質赤字比率** 福祉、教育、まちづくりなどを行う町の一般会計の赤字額を、標準的な収入と比較して指標化したものです。平成29年度も黒字決算となったことから、算定されていません。
- 連結実質赤字比率** 全ての会計の赤字や黒字を合算して、町全体の資金不足の程度を把握するため、標準的な収入との比較により指標化される比率です。全会計黒字決算となっていることから、算定されていません。
- 実質公債費比率** 標準的な収入に対する一般会計の実質的な借入金返済額割合を指標化したものです。平成29年度は、前年度と比較して1.5%減少し、早期健全化基準未満となっています。これは、一般会計が持っている地方債の償還が減少し、そのため元利償還金が減ったことおよび地方税の収入が増加したことによります。
- 将来負担比率** 借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。平成29年度は、一般会計の財政調整基金や寄付金による震災復興基金の積立金があることなどから、算定されていません。

※標準的な収入(標準財政規模) → 52億911万7千円(平成29年度)

借入金(町債・企業債)の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、前年度に引き続き、災害援護資金貸付事業債(1,085万円)、防火水槽の設置や小型動力消防ポンプ付積載車の購入などの防災対策整備事業債(3,790万円)の借入れを行いました。また、役場庁舎の建設に伴い庁舎災害復旧事業債(1億2,650万円)も借入れ、平成29年度の借入総額は17億317万4千円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は2億1,000万円で、約12.3%を占めています。

その他の会計においては、平成29年度の借入れは行いませんでした。

町としての平成29年度末現在高の合計額は163億5,892万9千円となり、前年度末から約2億3,100万円増加しています。

区分	平成28年度末現在高	平成29年度借入額	平成29年度償還額	平成29年度末現在高
一般会計	120億9,558万3千円	17億317万4千円	11億7,220万6千円	126億2,655万1千円
市場事業特別会計	5,567万4千円	0円	1,600万9千円	3,966万5千円
漁業集落排水事業特別会計	9,748万円	0円	768万2千円	8,979万8千円
公共下水道事業特別会計	15億6,567万4千円	0円	9,473万3千円	14億7,094万1千円
水道事業会計	19億7,355万8千円	0円	1億4,985万9千円	18億2,369万9千円
病院事業会計	3億3,914万円	0円	3,086万5千円	3億827万5千円
合計	161億2,710万9千円	12億5,205万円	10億2,023万円	163億5,892万9千円

平成29年度 特別会計・企業会計決算

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
国民健康保険特別会計	26億9,274万6千円	23億4,815万2千円	3億4,459万4千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,101万5千円	1億3,757万9千円	343万6千円
介護保険特別会計	16億6,339万7千円	15億7,122万円	9,217万7千円
市場事業特別会計	4,062万1千円	3,194万6千円	867万5千円
漁業集落排水事業特別会計	6,587万円	4,111万8千円	2,475万2千円
公共下水道事業特別会計	2億8,477万5千円	2億5,918万5千円	2,559万円

企業会計区分		予算額	決算額
水道事業会計	収益的	収入	6億2,679万7千円
		支出	6億2,483万3千円
	資本的	収入	17億7,062万7千円
		支出	19億9,195万4千円
病院事業会計	収益的	収入	21億6,246万7千円
		支出	21億6,246万7千円
	資本的	収入	3,886万7千円
		支出	3,886万7千円
訪問看護ステーション事業会計	収入	4,801万円	
	支出	4,801万円	